

山口県産材木造建築検証会

くすのきモクモク（木々）フェスタ～里山の木で楽しく作って学ぼう！～を開催して

宇部支部 伊藤 達人

令和6年1月21日（日）に令和5年10月21日（土）に開催した山口県産材木造建築検証会の続行事として、地域の方々や主に小学生を対象に木材とふれあうことを目的として、楠こもれびの郷まつり実行委員会、宇部支部・青年部、県青年部・女性部が共同で、前回と同様に宇部市の楠こもれびの郷で「くすのきモクモク（木々）フェスタ」を開催しました。

当日は雨上りの空に虹が架かる中、会場内には木材に関する様々なコーナーが設けられ、宇部支部・青年部は10時から15時まで木造建築クイズラリーを担当しました。



当日の天候

クイズラリーも前回と同様に施設内にクイズポイントを設置し、主に小学生を対象に、柱から大梁等の主な木構造に関することや施設に関する問題に挑戦してもらいました。回答後はモクモク（木々）博士（伊藤）・助手（原田）による採点・解説を行い参加賞を贈呈しました。参加者にはクイズを楽しみながら、木構造や施設に関心を持って頂くことができました。

また、多くの参加者があり、青年部一同も大変喜びました。



クイズラリー受付



クイズラリー採点



クイズラリー



木組みの小屋



木製遊具組み立て

会場内には木組みの小屋や木製遊具が組み立てられました。また、カンナ削り体験や手づくりコースター、巣箱、おうち形小物入れの製作体験など、大盛況でした。

15時30分からは山口県産材木造建築検証会が楠こもれびの郷研修室で開催され参加しました。

「県産材活用と木造建築への思いを語る」と題し、座長の榊龍環境計画内田氏の進行のもと、参加された県内建築士の方から経歴や携わられた建築の紹介、現在の作業現場の説明などがあり、榊グリーンデザインオフィス岩田氏からは動画により木造在来工法は耐震性があることや、地盤と建物の固有周期が同じにならないようにする必要があること等の説明がされました。

この2回の研修会により参加者は、木材・木造建築について様々な視点で知識を得ることができたことと思います。

ご参加・出席して頂きました皆様、大変お疲れ様でした。



クイズラリー参加者と記念撮影
(100人目参加者は右から3番目の男の子。頭の上のモクモクスターをゲットしました。)